

令和 3 年度 病院事業決算状況

都道府県名 山梨県

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ
-	中央病院	2
-	北病院	3
甲府市	甲府病院	4
富士吉田市	国保市立病院	5
都留市	都留市立病院	6
山梨市	牧丘病院	7
大月市	中央病院	8
韮崎市	国保市立病院	9
北杜市	塩川病院	10
北杜市	甲陽病院	11
上野原市	上野原市立病院	12
甲州市	勝沼病院	13
身延町早川町国民健康保険病院一部組合	飯富病院	14
峡南医療センター企業団	市川三郷病院	15
峡南医療センター企業団	富士川病院	16

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名			
病院名		中央病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	809,974
決算規模(千円)	571,833,529
標準財政規模(千円)	276,062,901
財政力指数	0.38432
経常収支比率(%)	84.5
健全化判断比率	実質赤字比率(%)
	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	54.0
材料費	-	-	25.3	29.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	16.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	13.4
減価償却費	-	-	9.0	8.1
経費	-	-	22.5	19.6
(うち委託料)	-	-	12.5	12.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		105.6	105.8
医業収支比率	-		85.1	89.1
修正医業収支比率	-		82.2	86.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	8.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	10.4
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	8.2
実質収益対経常費用比率	-		93.6	97.0

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名			
病院名		北病院	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	精神病院

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	809,974
決算規模(千円)	571,833,529
標準財政規模(千円)	276,062,901
財政力指数	0.38432
経常収支比率(%)	84.5
健全化	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
判断比率	
実質公債費比率(%)	11.6
将来負担比率(%)	180.9

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	106.2
材料費	-	-	25.3	8.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	6.2
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	1.4
減価償却費	-	-	9.0	14.3
経費	-	-	22.5	34.9
(うち委託料)	-	-	12.5	19.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.2	2.4
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		105.6	102.7
医業収支比率	-		85.1	60.7
修正医業収支比率	-		82.2	58.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	31.2
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	55.2
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	31.1
実質収益対経常費用比率	-		93.6	70.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 山梨県
市町村・組合名	甲府市			
病院名	甲府病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透未訓力	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当	
建物面積	28,066 m ²	不採算地区中核病院	非該当	
診療科数	31	指定病院の状況	救臨が感災輪	
許可公営企業		看護配置	7:1	
DPC対象病院	対象	経営形態	直営	
		類似区分	400床以上～500床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	402	59.5	59.8	71.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	6	-	11.6	3.3
計	408	58.6	59.1	70.9
平均在院日数(一般病床のみ)		11.1	12.3	12.7

設立団体の状況	
人口(人)	189,591
決算規模(千円)	84,130,075
標準財政規模(千円)	45,904,280
財政力指数	0.74
経常収支比率(‰)	88.8
健全化 判断比率	
実質赤字比率(‰)	-
連結実質赤字比率(‰)	-
実質公債費比率(‰)	7.6
将来負担比率(‰)	41.6

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,879,527			
1 経常収益	9,856,872			
(1) 医業収益	7,486,891			
(うち修正医業収益)	7,115,682			
入院収益	4,541,139			
外来収益	2,264,566			
診療収入計	6,805,705			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	681,186			
(うち他会計負担金)	371,209			
(2) 医業外収益	2,369,981			
(うち国・都道府県補助金)	1,486,145			
(うち他会計補助・負担金)	587,885			
(うち長期前受金戻入)	244,681			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	2,022,655			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	9,038,778			
2 経常費用	9,038,778			
(1) 医業費用	8,532,569			
職員給与費	4,446,678	59.4	60.2	57.5
材料費	1,606,651	21.5	25.3	27.9
(うち薬品費)	758,695	10.1	13.3	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	847,956	11.3	11.6	12.6
減価償却費	408,546	5.5	9.0	8.1
経費	2,038,444	27.2	22.5	19.1
(うち委託料)	1,058,651	14.1	12.5	10.0
研究研修費	15,201			
資産減耗費	17,049			
(2) 医業外費用	506,209			
(うち支払利息)	121,255	1.6	1.2	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損益	818,094			
純損益	2,840,749			
累積欠損金	10,461,325			
経常収支比率	109.1		105.6	105.7
医業収支比率	87.7		85.1	88.4
修正医業収支比率	83.4		82.2	85.6
他会計繰入金対経常収益比率	9.7		11.3	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	12.8		14.9	12.0
他会計繰入金対総収益比率	8.1		11.2	9.4
実質収益対経常費用比率	98.4		93.6	95.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	12,633,616
1 固定資産	10,079,190
(1) 有形固定資産	10,058,628
(2) 無形固定資産	2,273
(3) 投資その他の資産	18,289
2 流動資産	2,554,426
(1) 現金及び預金	691,323
(2) 未収金及び未収収益	1,761,190
(3) 貸倒引当金()	6,003
(4) 貯蔵品	107,916
3 繰延資産	-
負債合計	11,012,262
1 固定負債	5,981,169
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,370,169
(2) その他の企業債	411,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	1,200,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
2 流動負債	2,993,759
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	827,457
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	322,155
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	1,200,000
(8) 未払金及び未払費用	602,241
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,037,334
(1) 長期前受金	4,813,021
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,775,687
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,621,354
1 資本	11,981,249
2 剰余金	-10,359,895
(1) 資本剰余金	101,430
(2) 利益剰余金	-10,461,325
負債・資本合計	12,633,616
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,005,858	959,094
資本勘定繰入	570,907	870,907
計	1,576,765	1,830,001

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	585,153	8.0
令和元年度	1,297,055	16.1

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	139.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	22,876
地財法上の資金不足比率(%)	0.3

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	富士吉田市		
病院名	国保市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透力
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	23,358 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	31	指定病院の状況	救感災輪
許可公営企業		看護配置	7:1
DPC対象病院	対象	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	256	68.7	66.5	82.4
療養	50	39.4	39.9	27.4
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	21.0	60.5	0.5
計	310	63.3	62.1	72.5
平均在院日数(一般病床のみ)		9.6	10.0	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	46,530	
決算規模(千円)	31,808,178	
標準財政規模(千円)	11,650,507	
財政力指数	0.69	
経常収支比率(‰)	82.2	
健全化	実質赤字比率(‰)	-
判断比率	連結実質赤字比率(‰)	-
	実質公債費比率(‰)	8.3
	将来負担比率(‰)	0.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,821,607			
1 経常収益	8,688,362			
(1) 医業収益	6,920,020			
(うち修正医業収益)	6,806,694			
入院収益	4,107,839			
外来収益	2,216,670			
診療収入計	6,324,509			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	595,511			
(うち他会計負担金)	113,326			
(2) 医業外収益	1,768,342			
(うち国・都道府県補助金)	808,757			
(うち他会計補助・負担金)	606,361			
(うち長期前受金戻入)	314,264			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	133,245			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	8,494,381			
2 経常費用	8,494,381			
(1) 医業費用	8,099,080			
職員給与費	4,390,385	63.4	60.2	60.7
材料費	1,646,267	23.8	25.3	24.9
(うち薬品費)	738,931	10.7	13.3	12.8
(うち薬品費以外の医薬材料費)	903,123	13.1	11.6	11.7
減価償却費	556,175	8.0	9.0	9.2
経費	1,480,912	21.4	22.5	21.2
(うち委託料)	957,112	13.8	12.5	11.9
研究研修費	16,435			
資産減耗費	8,906			
(2) 医業外費用	395,301			
(うち支払利息)	65,867	1.0	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益	193,981			
純損益	327,226			
累積欠損金	673,016			
経常収支比率	102.3		105.6	106.9
医業収支比率	85.4		85.1	85.8
修正医業収支比率	84.0		82.2	83.2
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.3	9.7
他会計繰入金対医業収益比率	10.4		14.9	12.7
他会計繰入金対総収益比率	8.2		11.2	9.2
実質収益対経常費用比率	93.8		93.6	96.5

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	10,753,066
1 固定資産	7,658,594
(1) 有形固定資産	7,655,830
(2) 無形固定資産	2,764
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	3,094,472
(1) 現金及び預金	1,301,572
(2) 未収金及び未収収益	1,712,830
(3) 貸倒引当金()	12,734
(4) 貯蔵品	92,804
3 繰延資産	-
負債合計	8,232,826
1 固定負債	4,684,147
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,798,890
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,256,567
(7) 一ス債務	628,690
2 流動負債	1,253,895
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	291,317
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	225,546
(6) リ一ス債務	127,854
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	594,819
(9) 前受金及び前受収益	14,359
3 繰延収益	2,294,784
(1) 長期前受金	10,226,653
(2) 長期前受金収益化累計額()	7,931,869
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,520,240
1 資本金	3,148,272
2 剰余金	-628,032
(1) 資本金剰余金	-
(2) 利益剰余金	-628,032
負債・資本合計	10,753,066
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,081,229	719,687
資本勘定繰入	208,042	208,042
計	1,289,271	927,729

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(‰)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(‰)	9.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(‰)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(‰)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	都留市		
病院名	都留市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	8,695 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	14	指定病院の状況	救 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	140	56.9	55.5	56.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	140	56.9	55.5	56.9
平均在院日数(一般病床のみ)		14.3	12.7	11.9

設立団体の状況		
人口(人)	31,016	
決算規模(千円)	18,707,544	
標準財政規模(千円)	9,809,121	
財政力指数	0.48	
経常収支比率(%)	86.7	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	10.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,828,695			
1 経常収益	3,787,382			
(1) 医業収益	2,536,136			
(うち修正医業収益)	2,455,999			
入院収益	1,293,851			
外来収益	1,030,086			
診療収入計	2,323,937			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	212,199			
(うち他会計負担金)	80,137			
(2) 医業外収益	1,251,246			
(うち国・都道府県補助金)	111,342			
(うち他会計補助・負担金)	592,092			
(うち長期前受金戻入)	77,531			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	41,313			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,776,614			
2 経常費用	3,717,016			
(1) 医業費用	3,062,830			
職員給与費	1,738,819	68.6	60.2	66.7
材料費	489,808	19.3	25.3	17.8
(うち薬品費)	178,959	7.1	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	290,810	11.5	11.6	9.2
減価償却費	289,933	11.4	9.0	10.4
経費	535,876	21.1	22.5	28.7
(うち委託料)	310,424	12.2	12.5	13.3
研究研修費	2,387			
資産減耗費	6,007			
(2) 医業外費用	654,186			
(うち支払利息)	5,785	0.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	59,598			
損益	70,366			
純損益	52,081			
累積欠損金	763,359			
経常収支比率	101.9		105.6	105.7
医業収支比率	82.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	80.2		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.7		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	26.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	17.6		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	83.8		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	4,779,280
1 固定資産	3,791,249
(1) 有形固定資産	3,777,825
(2) 無形固定資産	13,424
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	988,031
(1) 現金及び預金	326,279
(2) 未収金及び未収収益	536,996
(3) 貸倒引当金()	6,165
(4) 貯蔵品	130,921
3 繰延資産	-
負債合計	3,324,230
1 固定負債	1,624,655
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	960,156
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	664,499
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	748,007
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	236,244
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	129,141
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	382,622
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	951,568
(1) 長期前受金	2,674,289
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,722,721
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,455,050
1 資本金	1,415,724
2 剰余金	39,326
(1) 資本金剰余金	367,613
(2) 利益剰余金	-328,287
負債・資本合計	4,779,280
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	628,305	672,229
資本勘定繰入	122,092	78,168
計	750,397	750,397

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	30.1
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名		山梨市			
病院名		牧丘病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能			
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	1,458 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	3	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	50床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	30	53.9	50.6	57.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	30	53.9	50.6	57.2
平均在院日数(一般病床のみ)		18.6	18.3	16.5

設立団体の状況		
人口(人)	33,435	
決算規模(千円)	22,937,821	
標準財政規模(千円)	11,036,196	
財政力指数	0.42	
経常収支比率(%)	92.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	62.0

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	34,575			
1 経常収益	34,575			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	34,575			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	34,181			
(うち長期前受金戻入)	394			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	34,190			
2 経常費用	34,190			
(1) 医業費用	4,181			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	4,181	-	9.0	12.7
経費	-	-	22.5	43.7
(うち委託料)	-	-	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	30,009			
(うち支払利息)	9	-	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
経常損失	385			
純損益	385			
累積欠損金	36,148			
経常収支比率	101.1		105.6	102.4
医業収支比率	-		85.1	63.8
修正医業収支比率	-		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	98.9		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	98.9		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	1.2		93.6	68.6

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	426,415
1 固定資産	393,092
(1) 有形固定資産	393,092
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	33,323
(1) 現金及び預金	33,323
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	4,145
1 固定負債	640
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	640
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	160
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	160
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,345
(1) 長期前受金	5,252
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,907
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	422,270
1 資本金	458,418
2 剰余金	-36,148
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-36,148
負債・資本合計	426,415
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	4,181	34,181
資本勘定繰入	877	877
計	5,058	35,058

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	大月市		
病院名	中央病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上～200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	22,512	
決算規模(千円)	13,936,221	
標準財政規模(千円)	8,360,888	
財政力指数	0.63	
経常収支比率(%)	84.9	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	14.5
	将来負担比率(%)	86.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	-			
2 経常費用	-			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	-	-	9.0	10.4
経費	-	-	22.5	28.7
(うち委託料)	-	-	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	-			
(うち支払利息)	-	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
純損失	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		105.6	105.7
医業収支比率	-		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	-		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	-		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名	
		山梨県	
市町村・組合名	韮崎市		
病院名	国保市立病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	10,272 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	22	指定病院の状況	救 災 輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	137	62.5	62.2	71.5
療養	34	64.4	71.0	78.8
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	171	62.9	64.0	73.0
平均在院日数(一般病床のみ)		17.1	18.4	17.0

設立団体の状況	
人口(人)	29,067
決算規模(千円)	16,034,297
標準財政規模(千円)	9,059,584
財政力指数	0.75
経常収支比率(%)	86.9
健全化 判断比率	-
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	9.0
将来負担比率(%)	72.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,552,955			
1 経常収益	2,552,955			
(1) 医業収益	2,275,717			
(うち修正医業収益)	2,164,396			
入院収益	1,378,219			
外来収益	725,326			
診療収入計	2,103,545			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	172,172			
(うち他会計負担金)	111,321			
(2) 医業外収益	277,238			
(うち国・都道府県補助金)	83,901			
(うち他会計補助・負担金)	90,243			
(うち長期前受金戻入)	59,077			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,644,166			
2 経常費用	2,628,815			
(1) 医業費用	2,529,862			
職員給与費	1,504,724	66.1	60.2	66.7
材料費	435,052	19.1	25.3	17.8
(うち薬品費)	200,109	8.8	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	209,774	9.2	11.6	9.2
減価償却費	134,590	5.9	9.0	10.4
経費	450,218	19.8	22.5	28.7
(うち委託料)	263,613	11.6	12.5	13.3
研究研修費	2,528			
資産減耗費	2,750			
(2) 医業外費用	98,953			
(うち支払利息)	8,821	0.4	1.2	1.3
(3) 特別損失	15,351			
損益	-75,860			
純損益	-91,211			
累積欠損金	467,854			
経常収支比率	97.1		105.6	105.7
医業収支比率	90.0		85.1	80.6
修正医業収支比率	85.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	7.9		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	8.9		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	7.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	89.4		93.6	90.0

備考:
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,570,199
1 固定資産	1,541,526
(1) 有形固定資産	1,210,480
(2) 無形固定資産	2,263
(3) 投資その他の資産	328,783
2 流動資産	1,028,673
(1) 現金及び預金	594,413
(2) 未収金及び未収収益	419,388
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	14,872
3 繰延資産	-
負債合計	2,047,502
1 固定負債	1,370,334
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	686,043
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	649,459
(7) 一 負債	34,832
2 流動負債	387,764
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	86,018
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	95,067
(6) リ 一 負債	10,113
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	195,897
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	289,404
(1) 長期前受金	886,934
(2) 長期前受金収益化累計額()	597,530
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	522,697
1 資本金	602,839
2 剰余金	-80,142
(1) 資本金剰余金	105,406
(2) 利益剰余金	-185,548
負債・資本合計	2,570,199
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	201,564	201,564
資本勘定繰入	67,861	67,861
計	269,425	269,425

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	20.6
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	北杜市				
病院名	塩川病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	12,228 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当		
診療科数	15	指定病院の状況	救へ輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	100床以上～200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	54	85.2	78.3	91.1
療養	54	84.6	82.2	88.0
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	108	84.9	80.2	89.5
平均在院日数(一般病床のみ)		19.4	18.8	17.8

設立団体の状況	
人口(人)	44,053
決算規模(千円)	31,102,970
標準財政規模(千円)	20,146,333
財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	83.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	5.5
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,004,783			
1 経常収益	1,959,939			
(1) 医業収益	1,426,226			
(うち修正医業収益)	1,356,927			
入院収益	872,545			
外来収益	409,994			
診療収入計	1,282,539			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	143,687			
(うち他会計負担金)	69,299			
(2) 医業外収益	533,713			
(うち国・都道府県補助金)	4,806			
(うち他会計補助・負担金)	109,236			
(うち長期前受金戻入)	99,877			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	44,844			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,066,509			
2 経常費用	2,066,509			
(1) 医業費用	1,635,294			
職員給与費	899,607	63.1	60.2	66.7
材料費	241,857	17.0	25.3	17.8
(うち薬品費)	102,121	7.2	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	139,735	9.8	11.6	9.2
減価償却費	152,056	10.7	9.0	10.4
経費	332,213	23.3	22.5	28.7
(うち委託料)	154,550	10.8	12.5	13.3
研究研修費	1,245			
資産減耗費	8,316			
(2) 医業外費用	431,215			
(うち支払利息)	31,986	2.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損益	-106,570			
純損益	-61,726			
累積欠損金	-			
経常収支比率	94.8		105.6	105.7
医業収支比率	87.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	83.0		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	9.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	12.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	8.9		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	86.2		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,480,989
1 固定資産	3,621,897
(1) 有形固定資産	3,523,908
(2) 無形固定資産	562
(3) 投資その他の資産	97,427
2 流動資産	2,859,092
(1) 現金及び預金	1,479,674
(2) 未収金及び未収収益	1,345,854
(3) 貸倒引当金()	14,379
(4) 貯蔵品	47,936
3 繰延資産	-
負債合計	4,584,771
1 固定負債	2,510,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,474,162
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,391
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	673,026
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	132,197
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	133,497
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,401,192
(1) 長期前受金	4,260,926
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,859,734
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,896,218
1 資本金	973,920
2 剰余金	922,298
(1) 資本金剰余金	169,202
(2) 利益剰余金	753,096
負債・資本合計	6,480,989
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	178,535	178,535
資本勘定繰入	152,262	153,702
計	330,797	332,237

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名 山梨県
市町村・組合名	北杜市			
病院名	甲陽病院			
施設及び業務概況等				
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当	
建物面積	8,220 m ²	不採算地区中核病院		
診療科数	17	指定病院の状況	救感輪	
許可公営企業		看護配置	10:1	
DPC対象病院	-	経営形態	直営	
		類似区分	100床以上~200床未満	

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	86	56.4	46.3	59.1
療養	32	78.9	83.0	78.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	-	60.2	2.8
計	122	60.5	56.4	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.6	12.9	16.2

設立団体の状況	
人口(人)	44,053
決算規模(千円)	31,102,970
標準財政規模(千円)	20,146,333
財政力指数	0.42
経常収支比率(%)	83.9
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	5.5
将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	2,566,998			
1 経常収益	1,965,557			
(1) 医業収益	1,569,599			
(うち修正医業収益)	1,492,463			
入院収益	808,287			
外来収益	607,489			
診療収入計	1,415,776			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	153,823			
(うち他会計負担金)	77,136			
(2) 医業外収益	395,958			
(うち国・都道府県補助金)	788			
(うち他会計補助・負担金)	260,563			
(うち長期前受金戻入)	130,327			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	601,441			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,794,931			
2 経常費用	1,794,931			
(1) 医業費用	1,720,485			
職員給与費	932,730	59.4	60.2	66.7
材料費	276,446	17.6	25.3	17.8
(うち薬品費)	154,396	9.8	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	122,048	7.8	11.6	9.2
減価償却費	180,154	11.5	9.0	10.4
経費	326,718	20.8	22.5	28.7
(うち委託料)	176,171	11.2	12.5	13.3
研究研修費	1,625			
資産減耗費	2,812			
(2) 医業外費用	74,446			
(うち支払利息)	19,660	1.3	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	109.5		105.6	105.7
医業収支比率	91.2		85.1	80.6
修正医業収支比率	86.7		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	17.2		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	21.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	13.2		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	90.7		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	6,480,989
1 固定資産	3,621,897
(1) 有形固定資産	3,523,908
(2) 無形固定資産	562
(3) 投資その他の資産	97,427
2 流動資産	2,859,092
(1) 現金及び預金	1,479,674
(2) 未収金及び未収収益	1,345,854
(3) 貸倒引当金()	14,379
(4) 貯蔵品	47,936
3 繰延資産	-
負債合計	4,584,771
1 固定負債	2,510,553
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,474,162
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	36,391
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	673,026
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	403,153
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	132,197
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	133,497
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,401,192
(1) 長期前受金	4,260,926
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,859,734
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,896,218
1 資本金	973,920
2 剰余金	922,298
(1) 資本金剰余金	169,202
(2) 利益剰余金	753,096
負債・資本合計	6,480,989
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	337,699	337,699
資本勘定繰入	88,748	91,328
計	426,447	429,027

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	上野原市				
病院名	上野原市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	9,542 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	135	48.6	45.5	46.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	135	48.6	45.5	46.9
平均在院日数(一般病床のみ)		15.4	14.0	14.9

設立団体の状況	
人口(人)	22,669
決算規模(千円)	11,933,585
標準財政規模(千円)	7,746,329
財政力指数	0.49
経常収支比率(%)	83.3
健全化 判断比率	
実質赤字比率(%)	-
連結実質赤字比率(%)	-
実質公債費比率(%)	11.2
将来負担比率(%)	38.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	248,967			
1 経常収益	248,921			
(1) 医業収益	54,802			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	54,802			
(うち他会計負担金)	54,802			
(2) 医業外収益	194,119			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	179,350			
(うち長期前受金戻入)	13,799			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	46			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	376,583			
2 経常費用	376,583			
(1) 医業費用	371,310			
職員給与費	-	-	60.2	66.7
材料費	-	-	25.3	17.8
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	9.2
減価償却費	146,266	266.9	9.0	10.4
経費	224,024	408.8	22.5	28.7
(うち委託料)	200,000	365.0	12.5	13.3
研究研修費	-			
資産減耗費	1,020			
(2) 医業外費用	5,273			
(うち支払利息)	2,282	4.2	1.2	1.3
(3) 特別損失	-			
損益				
経常損	-127,662			
純損	-127,616			
累積欠損金	127,616			
経常収支比率	66.1		105.6	105.7
医業収支比率	14.8		85.1	80.6
修正医業収支比率	-		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	94.1		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	427.3		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	94.0		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	3.9		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,603,842
1 固定資産	2,347,260
(1) 有形固定資産	2,318,413
(2) 無形固定資産	1,301
(3) 投資その他の資産	27,546
2 流動資産	256,582
(1) 現金及び預金	254,989
(2) 未収金及び未収収益	1,593
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	1,456,648
1 固定負債	541,489
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	541,489
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	393,156
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	392,074
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	710
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	522,003
(1) 長期前受金	882,882
(2) 長期前受金収益化累計額()	360,879
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	1,147,194
1 資本金	1,252,648
2 剰余金	-105,454
(1) 資本金剰余金	14,062
(2) 利益剰余金	-119,516
負債・資本合計	2,603,842
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	234,152	234,152
資本勘定繰入	50,397	50,397
計	284,549	284,549

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	232.9
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			山梨県
市町村・組合名	甲州市		
病院名	勝沼病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	1,991 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	7	指定病院の状況	輸
許可公営企業		看護配置	15:1
DPC対象病院	-	経営形態	指定管理者(利用料金制)
		類似区分	50床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輸...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (‰・日)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	39	62.6	51.0	51.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	39	62.6	51.0	51.8
平均在院日数(一般病床のみ)		47.1	47.8	34.4

設立団体の状況		
人口(人)	29,237	
決算規模(千円)	20,700,251	
標準財政規模(千円)	10,552,313	
財政力指数	0.43	
経常収支比率(%)	91.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	15.9
	将来負担比率(%)	90.8

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,878			
1 経常収益	19,878			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,878			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	15,528			
(うち長期前受金戻入)	4,350			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,663			
2 経常費用	19,663			
(1) 医業費用	16,206			
職員給与費	-	-	60.2	86.6
材料費	-	-	25.3	12.9
(うち薬品費)	-	-	13.3	7.1
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.6	5.1
減価償却費	13,766	-	9.0	12.7
経費	2,440	-	22.5	43.7
(うち委託料)	-	-	12.5	21.5
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	3,457			
(うち支払利息)	776	-	1.2	1.2
(3) 特別損失	-			
損益	215			
純損益	215			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.1		105.6	102.4
医業収支比率	-		85.1	63.8
修正医業収支比率	-		82.2	58.5
他会計繰入金対経常収益比率	78.1		11.3	33.0
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.9	56.7
他会計繰入金対総収益比率	78.1		11.2	33.3
実質収益対経常費用比率	22.1		93.6	68.6

備考：
「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	526,877
1 固定資産	471,893
(1) 有形固定資産	405,559
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	66,334
2 流動資産	54,984
(1) 現金及び預金	54,984
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	84,186
1 固定負債	36,418
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	36,418
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	3,686
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,686
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	44,082
(1) 長期前受金	100,543
(2) 長期前受金収益化累計額()	56,461
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	442,691
1 資本金	354,507
2 剰余金	88,184
(1) 資本金剰余金	66,334
(2) 利益剰余金	21,850
負債・資本合計	526,877
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	9,884	15,528
資本勘定繰入	1,611	1,611
計	11,495	17,139

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
・修正医業収益とは、医業収益から
その他医業収益のうち他会計負担金を
除いたもので、修正医業収支比率とは、
修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
・「不良債務額」、「不良債務比率」、
「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
「健全化法上の資金不足額」、
「健全化法上の資金不足比率」、
「地財法上の資金不足額」、
「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
算出している。
・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
財政構造の弾力性を判断するための指標で、
人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
支出される経費(経常的経費)に充当された
一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)			都道府県名
			山梨県
市町村・組合名	身延町早川町国民健康保険病院一部組合		
病院名	飯富病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当
建物面積	6,995 m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	11	指定病院の状況	救臨へ輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	50床以上~100床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	61	50.5	56.3	56.2
療養	26	84.9	90.7	84.3
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	87	60.8	66.6	64.6
平均在院日数(一般病床のみ)		21.7	23.1	21.9

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,666,534			
1 経常収益	1,661,534			
(1) 医業収益	1,061,708			
(うち修正医業収益)	1,061,708			
入院収益	599,500			
外来収益	431,300			
診療収入計	1,030,800			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	30,908			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	599,826			
(うち国・都道府県補助金)	145,644			
(うち他会計補助・負担金)	83,274			
(うち長期前受金戻入)	28,622			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	5,000			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,718,611			
2 経常費用	1,718,611			
(1) 医業費用	1,250,926			
職員給与費	616,090	58.0	60.2	76.8
材料費	226,498	21.3	25.3	14.4
(うち薬品費)	128,999	12.2	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	92,169	8.7	11.6	6.0
減価償却費	111,376	10.5	9.0	11.4
経費	286,208	27.0	22.5	31.5
(うち委託料)	89,443	8.4	12.5	14.5
研究研修費	1,055			
資産減耗費	9,699			
(2) 医業外費用	467,685			
(うち支払利息)	12,382	1.2	1.2	1.4
(3) 特別損失	-			
経常損益	-57,077			
純損益	-52,077			
累積欠損金	284,480			
経常収支比率	96.7		105.6	103.4
医業収支比率	84.9		85.1	74.3
修正医業収支比率	84.9		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	5.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	5.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	91.8		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,364,218
1 固定資産	2,404,150
(1) 有形固定資産	2,376,369
(2) 無形固定資産	491
(3) 投資その他の資産	27,290
2 流動資産	960,068
(1) 現金及び預金	332,679
(2) 未収金及び未収収益	290,815
(3) 貸倒引当金()	7,971
(4) 貯蔵品	7,011
3 繰延資産	-
負債合計	1,217,738
1 固定負債	292,465
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	288,156
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	4,309
2 流動負債	537,485
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	83,708
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	64,800
(6) リ一ス債務	3,432
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	46,762
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	387,788
(1) 長期前受金	1,072,457
(2) 長期前受金収益化累計額()	684,669
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,146,480
1 資本金	2,425,212
2 剰余金	-278,732
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-278,732
負債・資本合計	3,364,218
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	221,456	83,274
資本勘定繰入	24,623	24,623
計	246,079	107,897

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	26.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)				都道府県名	
				山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団				
病院名	市川三郷病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	第2種該当		
建物面積	5,842 m ²	不採算地区中核病院			
診療科数	12	指定病院の状況	救臨へ輪		
許可公営企業		看護配置	13:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	90	25.7	25.1	31.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	90	25.7	25.1	31.6
平均在院日数(一般病床のみ)		13.8	16.9	23.8

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,549,031			
1 経常収益	1,549,031			
(1) 医業収益	969,767			
(うち修正医業収益)	969,767			
入院収益	255,504			
外来収益	656,275			
診療収入計	911,779			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	57,988			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	579,264			
(うち国・都道府県補助金)	21,041			
(うち他会計補助・負担金)	186,367			
(うち長期前受金戻入)	54,965			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,576,516			
2 経常費用	1,576,479			
(1) 医業費用	1,152,889			
職員給与費	649,364	67.0	60.2	76.8
材料費	192,556	19.9	25.3	14.4
(うち薬品費)	116,071	12.0	13.3	7.7
(うち薬品費以外の医薬材料費)	76,329	7.9	11.6	6.0
減価償却費	55,309	5.7	9.0	11.4
経費	254,591	26.3	22.5	31.5
(うち委託料)	147,350	15.2	12.5	14.5
研究研修費	1,069			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	423,590			
(うち支払利息)	3,218	0.3	1.2	1.4
(3) 特別損失	37			
損益				
経常収支比率	98.3		105.6	103.4
医業収支比率	84.1		85.1	74.3
修正医業収支比率	84.1		82.2	70.1
他会計繰入金対経常収益比率	12.0		11.3	23.0
他会計繰入金対医業収益比率	19.2		14.9	34.1
他会計繰入金対総収益比率	12.0		11.2	22.9
実質収益対経常費用比率	86.4		93.6	79.7

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,974,318
1 固定資産	2,123,227
(1) 有形固定資産	2,019,442
(2) 無形固定資産	55,768
(3) 投資その他の資産	48,017
2 流動資産	1,851,091
(1) 現金及び預金	872,626
(2) 未収金及び未収収益	938,293
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	40,112
3 繰延資産	-
負債合計	3,081,003
1 固定負債	1,529,506
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	900,863
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	515,175
(6) 引当金	113,282
(7) 一時借入金	186
2 流動負債	882,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,196
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	11,643
(5) 引当金	151,040
(6) リース債務	310
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	493,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	669,196
(1) 長期前受金	2,189,304
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,520,108
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	893,315
1 資本	333,008
2 剰余金	560,307
(1) 資本剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	180,273
負債・資本合計	3,974,318
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	202,634	186,367
資本勘定繰入	16,128	99,604
計	218,762	285,971

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和3年度)		都道府県名 山梨県	
市町村・組合名	峡南医療センター企業団		
病院名	富士川病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド訓
病院区分	一般病院	不採算地区病院	
建物面積	12,893 m ²	不採算地区中核病院	第2種該当
診療科数	12	指定病院の状況	救臨感災輪
許可公営企業		看護配置	10:1
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	100床以上~200床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和3年度	令和2年度	令和元年度
一般	154	58.1	61.3	73.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	4	38.4	45.1	1.0
計	158	57.6	60.9	71.1
平均在院日数(一般病床のみ)		12.3	13.9	15.2

設立団体の状況	
人口(人)	-
決算規模(千円)	-
標準財政規模(千円)	-
財政力指数	-
経常収支比率(%)	-
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	3,842,912			
1 経常収益	3,842,912			
(1) 医業収益	2,346,775			
(うち修正医業収益)	2,346,775			
入院収益	1,367,863			
外来収益	654,643			
診療収入計	2,022,506			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	324,269			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	1,496,137			
(うち国・都道府県補助金)	601,333			
(うち他会計補助・負担金)	317,321			
(うち長期前受金戻入)	67,164			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	3,222,360			
2 経常費用	3,222,294			
(1) 医業費用	2,562,859			
職員給与費	1,478,328	63.0	60.2	66.7
材料費	426,161	18.2	25.3	17.8
(うち薬品費)	184,817	7.9	13.3	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	241,344	10.3	11.6	9.2
減価償却費	70,588	3.0	9.0	10.4
経費	586,047	25.0	22.5	28.7
(うち委託料)	299,159	12.7	12.5	13.3
研究研修費	1,735			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	659,435			
(うち支払利息)	672	-	1.2	1.3
(3) 特別損失	66			
損益	620,618			
純損益	620,552			
累積欠損金	-			
経常収支比率	119.3		105.6	105.7
医業収支比率	91.6		85.1	80.6
修正医業収支比率	91.6		82.2	76.5
他会計繰入金対経常収益比率	8.3		11.3	14.8
他会計繰入金対医業収益比率	13.5		14.9	20.6
他会計繰入金対総収益比率	8.3		11.2	14.9
実質収益対経常費用比率	109.4		93.6	90.0

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	3,974,318
1 固定資産	2,123,227
(1) 有形固定資産	2,019,442
(2) 無形固定資産	55,768
(3) 投資その他の資産	48,017
2 流動資産	1,851,091
(1) 現金及び預金	872,626
(2) 未収金及び未収収益	938,293
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	40,112
3 繰延資産	-
負債合計	3,081,003
1 固定負債	1,529,506
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	900,863
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	515,175
(6) 引当金	113,282
(7) 一ス債務	186
2 流動負債	882,301
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	199,196
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	11,643
(5) 引当金	151,040
(6) リ一ス債務	310
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	493,571
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	669,196
(1) 長期前受金	2,189,304
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,520,108
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	893,315
1 資本金	333,008
2 剰余金	560,307
(1) 資本剰余金	380,034
(2) 利益剰余金	180,273
負債・資本合計	3,974,318
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	
当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	329,137	317,321
資本勘定繰入	27,349	63,217
計	356,486	380,538

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-
令和元年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。